

南あわじ市社協だより

わかは



第81号

2025年9月発行



笑顔の写真も
たくさん、とれたよ!!
(詳しくは、P.5)



南あわじ市社協
ありがとう
20th



Contents

- 新役員紹介 2
- 赤い羽根共同募金について..... 3
- 社協活動掲示板 4・5
- 地域の活動ええ和・話・輪..... 6
- お知らせコーナー・福祉クイズ 7
- 善意銀行だより 8



この広報誌は一部赤い羽根共同募金の財源を
活用しています。



助け合い 広がる つながる 赤い羽根



10月1日より赤い羽根共同募金運動が、全国一斉に展開されます。

赤い羽根共同募金は、「困ったときはお互いさま」の気持ちをカタチにする活動です。みなさまから寄せられた募金は、世代間交流事業や高齢者の見守り訪問活動、「ふれあい・いきいきサロン」など南あわじ市の地域福祉活動のために役立てられています。日常の中でできるちょっとした協力が、誰かの大きな支えになります。今年も温かいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

南あわじ市共同募金委員会

募金の依頼方法について

自治会・町内会、民生児童委員、企業や学校関係者などのみなさまに支えられ、様々な場所で募金運動が展開されています。

戸別募金

自治会を通じて各世帯へ

法人募金

企業や事業所、各種団体へ

学校募金

学校・保育所を通じて、児童生徒、園児のみなさまへ

その他、街頭募金や店頭（募金箱）での募金運動にご協力をお願いいたします。

ご存知ですか？ 新しい募金のカタチ

日常の消費活動が地域支援につながるしくみ



募金百貨店プロジェクト

「募金付き商品」を企画し、売上の一部を寄附いただくことにより、地域社会に貢献する企業・団体等を募集する取り組みです。



募金付き自動販売機



売り上げの一部が共同募金に寄附され、自動販売機が設置された地域の福祉活動に活用されます。清涼飲料水メーカー等と協働し実施しています。

加盟店、オーナー様随時募集しております！



クレジットカードやPayPay等 による募金も受付ています。

募金先は全国すべての市区町村から選択でき、希望する地域の福祉活動を、**年間を通じて**応援することができます。また、ご寄附の使いみちも、分野で指定していただくことができます。



詳しくはこちらから→



じぶんの町を良くするしくみ

共同募金は、地域共生社会の実現に向けて、福祉団体やボランティアグループの活動の支えとなり、地域のさまざまな生活・福祉課題に取り組む力となっています。

赤い羽根データベース『はねっと』では、全国の共同募金の使いみちを掲載しています。(https://hanett.akaihane.or.jp/)



赤い羽根募金のつかいみち
赤い羽根データベース
はねっと



街頭募金の予定



10月7日(火)16時～
ショッピングプラザ シーパ
11月4日(火)
イオン南淡路店



退任のごあいさつ

前会長 阿部 昌弘

この度、九年間務めた社会福祉協議会の会長の職を退任いたしました。就任時は不慣れな分野に戸惑うことも多く、全てが手探りの状態から始まりました。多くの方にご指導を乞い、またご協力をいただきながら日々の業務を遂行するなか、会長として独断専行に陥ることなく運営を成し得たと自負しております。任期中に「なでしこデイサービスセンター」の開設と併せ、今年九月には市の法務局跡地に「ふらっとほうむ」を新しく開所いたします。新規事業の展開にかかわることが出来たことを光栄に思っております。

在任中、役員は勿論、事務局長、職員の皆様にはご尽力を頂き職務を全うすることが出来ました。任期中に行政を始め、地域の皆様と多くの場でお会いし、お話する機会を得ました。感謝申し上げます。

今後は微力ですが、地域福祉のため何らかの形でお手伝いさせていただきます。言葉足らずではございますが、退任のご挨拶とさせていただきます。九年間本当にありがとうございました。

就任のごあいさつ

会長 溝口 薫

日頃より、社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、阿部前会長の後任として、会長に就任いたしました溝口薫と申します。身に余る大役ではございますが、南あわじ市の地域福祉の推進という重責をしっかりと果たしていく所存でございます。

私たちの住む南あわじ市は、豊かな自然と人情あふれる地域性に恵まれます。しかしながら、少子高齢化の進行、地域の担い手不足、そして多様化する福祉ニーズなど、地域福祉を取り巻く環境は日々変化し、複雑化しております。このような状況の中、社会福祉協議会の果たすべき役割はますます重要になっていくと認識しております。地域住民の皆様が安心して暮らせる「地域共生社会」の実現に向けて、役職員一同、全力で取り組んでまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

新役員・評議員の紹介

この度の改選により、新役員・評議員が下記のとおり決まりましたので、お知らせいたします。退任されました皆様には、地域福祉の推進にご尽力を賜りありがとうございました。

役員名簿（敬称略）

役職名	氏名	選出区分
会長	溝口 薫	支部代表
副会長	清水 昭男	
理事	谷守 弘一	
//	高田 政浩	ボランティア
//	平池 啓子	
//	登里 倭江	
//	福岡 博文	連合自治会
//	喜田 進	知識経験者
//	児玉 昌士	民生委員
//	酒井 義夫	
//	作田 一徳	
//	武岡 孝	行政
//	澤田 晋吾	
//	前川 恵理	
監事	佃 信夫	知識経験者
//	藤井 貴之	財務知識経験者
//	山本ひとみ	福祉知識経験者

評議員名簿（敬称略）

氏名	選出区分
大江 幸司	市議会議員
森本 一宏	連合自治会
宇治田 茂	
神代 和明	
長尾 康史	民生委員
山野 絹代	
門田 照子	
狭間 和美	ボランティア
竹田 敬子	
祖山ふみゑ	
江本耕一郎	社会福祉施設
杉山麻由美	
山田 高嗣	
三木 佳代	教育関係
齋藤 浩二	
	行政

氏名	選出区分
神崎 恭司	経済団体
奥井 光子	
山本 和民	当事者団体
竹谷 登	
濱口 文子	
後藤 直子	知識経験者
長尾 光雄	
伊達久美子	
新居三栄子	
興津 治美	
堀井 正弘	
関口 功	
榎本 繁美	
柳 易庸	

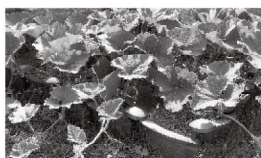
社 協 活 動

なでしこ菜園 今年も豊作！

なでしこデイサービスセンター（生活介護）では、夏野菜を育てています。昨年は不作だった“なでしこ菜園”ですが、今年はじゃがいも・かぼちゃ・なす・ミニトマトなどたくさんの夏野菜を収穫することができました。

収穫したじゃがいもは、フライドポテトにしておやつとして楽しんだほか、昼食の食材に使ってもらい美味しいメニューに変身しました。

自分たちで育て、みんなで収穫した野菜は、味わいもひとしお。みんなでおいしく食べて、楽しんでいます。



よかさ〜くる「あつまらんか！」開催しました！

8月8日（金）午後、南淡B&G海洋センターにて、障がいのある子どもたちの余暇支援を目的としたサークル「よかさ〜くる『あつまらんか！』」を開催しました。

Wカヌー、バナナボート、メガサップ、浜辺あそびなど、海のレクリエーションを通じて、子ども同士の交流はもちろん、保護者やきょうだいとのつながりも深まりました。

晴天のもと、子どもと大人あわせて約30名が参加し、笑顔あふれるひとときを過ごしました。「海で思いきり遊べて楽しかった！」「また参加したい！」という声も聞かれ、充実した時間となりました。



ボランティア募集

今年も各地区で、地域住民のつながりの輪を広げることを目的に福祉のおまつりを実施します。

11/8（土） **なんだん福祉まつり**
場 所 賀集地区公民館

11/24（月・振休） **みどり・みはらふれあい福祉のつどい 2025**
場 所 調整中

11/30（日） **せいだんふれあい交流のつどい**
場 所 湊地区公民館

上記の福祉のおまつりで、一緒に活動してください。ボランティアを募集しています。

★着ぐるみボランティア

★各ブースのお手伝い

★赤い羽根共同募金運動の啓発活動 など

詳しい内容については、お気軽にお問い合わせください。

今年の夏はサマチャレだ!! サマーチャレンジボランティア 2025

夏休みの期間を利用し、“ボランティア活動を始めてみたい!” “体験してみたい!”という高校生以上の方を対象とした「サマーチャレンジボランティア」を実施しました。

高校生や専門学校生など12名の参加申し込みがあり、市内にある福祉施設やNPO法人、子育てひろばなどで活動を行いました。



参加者からは、「ボランティア活動は施設や拠点などで普段できないことを体験することができる。参加することで限られた学校生活を楽しく、満喫したい。」と、協力施設からは「若い学生がボランティアに来てくれることで、施設の中が明るくなった。今日だけではなく時間があるときいつでも参加してほしい。」とのお声をいただきました。

サマーチャレンジボランティアを通じ、参加者と施設や地域とのつながりが生まれ、次世代のリーダー育成の機会となりました。

みなさんも「自分のできる、やりたい」何かをはじめませんか？興味のある方は、ぜひご連絡ください。

掲 示 板

「福祉学習ハンドブック」が完成しました！

社協では、「これからの福祉学習」を考える機会として、学校関係者や障がい当事者にご参加いただき、福祉学習ワークショップを開催しています。



その取り組みの成果のひとつとして、『福祉学習ハンドブック』が完成しました。この冊子では、「福祉学習って、何をするの?」「なぜ福祉学習が必要なの?」「どんなことから始めたらいいの?」といった疑問にお答えしながら、福祉学習の基本から実践までを分かりやすく紹介しています。

福祉学習や福祉学習ハンドブックについて、ご興味のある方は、お気軽に社協までお問い合わせください。

英字新聞がエコバッグに大変身！

8月7日(木)、玉青館にて「新聞エコバッグワークショップ」が開催され、親子連れや学生が参加しました。身近な素材の新聞を使って実用的なエコバッグをすることで、環境問題への意識が高められました。新聞を折ったり、ボンドを貼ったり、マスキングテープを使ってオリジナルのエコバッグを作成し、「新聞って、意外と丈夫!」「デザインがオシャレ」と、参加者からは驚きと喜びの声があがっていました。今回のワークショップでは、「物を大切にすること」を第一歩としました。



“みんなで考え みんなでつくる 笑顔のまち”を目指して 南あわじ市社協役員合同研修

7月18日(金)、社協の理事、評議員、支部運営委員など約50名が参加し、役員合同研修会を開催しました。

研修会では、ローカリズム・ラボ代表の井岡仁志氏をお迎えし、「“つながり”から始まる地域の未来を考える」と題し、人口減少による家族・地域・企業のセーフティネットのぜい弱化、そのことに伴い発生している多様な地域課題への対策について学びました。

また、講師から社協の役割についての講義や職員による社協活動の説明を通し、さまざまな社会課題に対する対策に住民や行政、団体などと社協が一緒になって取り組むことの重要性を理解する機会となりました。

参加者からは、「少子高齢化による人口減少などで地域のつながりが希薄になっていく世の中であって、社協がすすめるつながりづくりがとても重要だと感じた。地域には社協が必要」「自治会長や民生委員だけを頼るのではなく、自分たちも地元に関心を持って関わっていくことが大事なことであった」などの感想がありました。



これからも南あわじ市のみなさまと共に話し合い、つながりあい、誰もが参加し活躍できる、「みんなで考えみんなでつくる笑顔のまち」を目指し、地域福祉を推進していきます。



南あわじ市社協とともに20年…お話聞かせていただきました！



里村 誠生 さん

(元社協職員)

社協で長年にわたり会計職員として活躍された里村さん。旧南淡町社協から南あわじ市社協への合併を経て、約17年間、地域福祉の運営を支えてられました。確かな手腕と誠実な姿勢で、社協の土台を築いてこられた縁の下での力持ちです。お話を伺う中で、合併当時や事務所移転の頃のお話やすいせんホームの運営を社協が担っていた頃のお話を知ることができました。懐かしい思い出とともに、地域福祉の変遷と社協の歩んできた歴史が浮かび上がります。里村さんの言葉1つ1つには、そんな温もりがにじんでいます。社協を退職された後も、福祉施設での勤務を続け、今年で9年目を迎えられました。地域では「鈴虫のお父さん」としても親しまれ、毎年夏になると、里村さんが育てた鈴虫が地域のみなさまに届けられています。

里村さんの姿や言葉は、地域に根ざした福祉のあり方を静かに教えてくれています。

清川 とし子 さん

(緑ボランティア連絡会会長・元社協監事)



旧緑町時代から、緑ボランティア連絡会の会長、そして社協監事として約30年間、地域福祉活動を支えてこられた清川さん。現在も、みどり支部運営委員や緑風館の理事長として、地域のさまざまな場面で活躍されています。

活動の始まりは、ひとり暮らし高齢者への配食サービス。そこから、ミニデイサービス、市町主催イベントへの参加、社協行事への参画など、「誰でも参加しやすい方法」を考えながら、「社協の目指すつながり」の輪を広げてられました。

地域で最初に「ふれあい・いきいきサロン」を立ち上げたことも、思い出のひとつだそうです。活動の始まりとなった、ひとり暮らし高齢者の見守り活動は、現在も継続中です。

お話を伺う中で、「地域のみなさんに喜んでもらえるのが何より。でも、ボランティア自身も楽しめるようにすることが大切」と語ってくださいました。

清川さんのこれまでの活動は、福祉に対するあたたかい心と社協がどうあるべきか常に追求されてきた姿勢を示唆されていたように思います。

今回は、このお二方にお話をうかがいました。インタビューへのご協力、ありがとうございました。

福祉クイズ

Q

広報「わかば」表紙は、どこ？

〇〇〇〇デイサービスセンター

前回(第80号)の福祉クイズの答えは「しとおり(駐在所)」でした。

■応募方法

- はがきかメールに ①クイズの答え
②南あわじ市の穴場スポットは？
③郵便番号 ④住所 ⑤名前 ⑥電話番号
⑦年齢をご記入の上、ご応募ください。

■締め切り 10月31日(金) 必着

■応募先

〒656-0122
南あわじ市広田広田1064番地
南あわじ市社会福祉協議会
メール info@minamiawaji-shakyo.or.jp

- ◆応募者の中から10名の方に商品券500円分をプレゼント！
- ◆当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



サ ロンリーダー交流会 開催



7月29日(火)、榎列公民館にて「ふれあい・いきいきサロンリーダー交流会」を開催しました。

田川雅規氏(あそびの工房もくもく屋・事務局長)を講師に迎え、「笑いとあそびで地域を元気に」というメッセージを軸に、ユーモアあふれる語り口で、「居場所」づくりのコツを教えてくださいました。

お話のなかでは、実際に笑いを交えた体験を通じて、誰もがサロンに参加しやすくなる関わり方の工夫を紹介。参加者の皆さんも、終始笑顔で和やかな雰囲気の中、交流を楽しんでいました。

参加者からは「すぐにサロンで取り入れられるアイデアばかりで、サロンがもっと楽しくなりそう」など、多くの前向きな感想が寄せられました。

今回の交流会は、日々地域の中で「居場所づくり」に取り組むサロン同士の刺激と学びの場となり、参加者の皆さんにとって、新たな一歩につながる時間となったのではないのでしょうか。



地域の活動 ええ 和 話 輪

湊 地区で広がる温かなつながり ― えびす屋さんの「地域食堂」

湊地区の街中で、地域のつながりを育む「地域食堂」が開かれているのをご存じでしょうか。

この地域食堂では、近隣の方々を中心に毎回10名ほどが集まり、和やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいます。運営しているのは、かつて仕出し屋を営んでいた、料理が得意な新居澄江さん。ご近所の2人と一緒に、長年仕出し屋をしてきたえびす屋さんで地域食堂を開いています。

これまでの経験を活かし、「ひとり暮らしの方が増えてきた今、地域の皆さんのために何かできれば」との思いから、この取り組みが始まりました。えびす屋さんの料理は、どこか懐かしく、心がほっとする味。参加者の中には「この料理を食べるのが毎週の楽しみ」と、話す方もいらっしゃるほどです。

この地域食堂は、令和7年5月から毎週月曜日と土曜日に定期的で開催されており、えびす屋さんの美味しい料理が口コミで広がるにつれて、常連さんも少しずつ増えてきています。今では、開催日を心待ちにしている方もおり、地域の中に新たな交流の場が根付きつつあります。

毎回欠かさず足を運んでいる常連の方は「料理を作ることよりも、みんなと集まって一緒に食事をする時間が何より楽しい」とにこやかに語ってくださいました。

取材に伺った当日は、あいにくの雨模様でしたが、カウンターには顔なじみの方々が集まり、食事をしながら世間話に花を咲かせる、そんな温かい時間が流れていました。



絵本の読み聞かせ × 福祉学習（アイマスク体験）を実施しました！

6月12日(木)、市内のアフタースクールにて、絵本の読み聞かせと併せて福祉学習を実施しました。今回の取り組みは、ボランティアグループ「チーム・アンジェリコ」のメンバーと一緒に、子どもたちが視覚障がいについて楽しく学び、障がい理解を深めることを目的に行いました。

まずは、視覚障がいをテーマにした絵本の読み聞かせです。「チーム・アンジェリコ」のメンバーが丁寧に語りかけるように読み進めることで、子どもたちは物語の世界に引き込まれながら、目の見えない人の生活や感じ方について自然と関心を持つようになりました。

読み聞かせの後には、実際に視覚障がいの感覚を体験するゲームを実施しました。子どもたちはアイマスクを着用し、視覚を遮断した状態で、手の感覚を頼りに物を当てるというゲームに挑戦！普段、何気なく使っている「見る」という感覚が使えない状況に戸惑いながらも、子どもたちは真剣に手の感覚を研ぎ澄ましていました。

この体験を通じて、子どもたちは視覚障がいのある方の立場に立って考えることの大切さを学びました。参加した子どもたちからは「目が見えないとこんなに難しいんだ」「少し移動するだけでも怖くて大変」といった声が聞かれ、感受性豊かな反応が印象的でした。

社協では、今後もこのような体験型の学びを通じて、子どもたちが多様な人々への理解と共感を育む機会を提供していきたいと考えています。



善意銀行

だ
よ
り



令和7年6月1日～
令和7年8月31日まで（敬称略）

金錢預託

○地域福祉のために

匿名1件
阿万六期会
山口勇
藤江時恵
楠本はつみ
山口利子
山口勇

★ 物品の寄附

○食材・食料品

堀井 正弘 小川 芳子
平 一孝 佐藤 儀人
中村 茂喜
春日寺
㈱パソナグループ
南あわじ市消費者協会
匿名3件

○手芸材料・工作品

門田 和子
花みずき向谷
喜田電気商会
匿名3件

○日用品・生活雜貨品

岩井 亮助
沖 俊作
上田 和代
湯の川 荘
匿名 4件

瀬尾 真未
喜田 眞里子
池田 八栄子

○衣類

大亦 俊子 喜田眞里子
さかた屋洋品店

○生花

岡田芙美子

○衛生用品・介護用品

岸 隆弘
藤江 隆人
匿名 4件
森崎 礼子

○プルタブ・古切手・書き損じハガキ・テレホンカード・ベルマーク・牛乳パック

喜田進	喜田眞里子
柏木雅文	宮野節子
赤松さえこ	藤村正人
大亦俊子	稲井富江
廣瀬成彦	平一孝
竹谷登	齋藤矩子
小川芳子	坂本保直
金崎昇一	吉田美恵子
藤江時恵	竹中順子
瀨尾真未	清川隼司
垣本秀子	奥井勇介
門田照子	原口豊美
宮本英子	中谷温子
宮崎恵美子	山本きく子
奥畑広二	鍛冶山のり子
藤江キヨ丑	武田文子
花みずき向谷	㈱エシエルクア
湯の川莊	総合衣料玉岡屋
大潮莊	㈱住吉屋
㈱淡陶社	㈱マルチヨ一
向谷自治会	
伊加利地区老人会	
しぜん工房美味輪	
潮美台地区民生委員	
児童委員協議会	
まちの子育てひろば	
いきいき百歳体操「松風」	
フレッシュユすいせん	
匿名11件	

お願い

☆新品または新品同様のもの
☆取り扱い説明書のあるもの
にご協力をお願いいたします。



南あわじ社協では、捨てられ
てしまう「のぼり旗」を再利用
して、エコバッグや巾着、ラン
チバッグなどに生まれ変わらせ
るリメイクバッグプロジェクト
を進めています！
プロジェクトにご協力いただ
ける方を募集しています。
縫い物が得意な方、手芸が好
きな方、地域のために何かした
い方など、あなたのアイデアで、
世界にひとつだけのバッグを
作ってみませんか？
詳しくは、社協までお問い合わせ
ください。

ボランティア募集

切手・ベルマーク

▽日程
11月7日(月)

▽時 間	10時～12時
▽場 所	南あわじ市社協 2階
▽内 容	使用済み切手・ ベルマークの整理など
▽申 込	不要
▽持 ち 物	不要



©MINAMIWAJI_SHAKYO

@MINAMIWAJI SHAKYO

社協からの募集案内、イベント
開催案内、地域活動の情報につ
いてはこちらから。



@FLAT_HOUMU

@FLAT HOUMU

ふらっとほうむの専用アカウントです。活用についての進捗状況などを報告しています。

発行 社会福祉法人 南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122 兵庫県南あわじ市広田広田1064 番地 TEL(0799)44-3007(代) FAX(0799)44-3037(代)
URL <https://minamiawaji-shakyo.or.jp> メール info@minamiawaji-shakyo.or.jp

○本部・総務課 ☎ 0799-44-3007
○地域福祉課・総合相談課 ☎ 0799-44-3007
○ボランティアセンター ☎ 0799-44-3007
○障害者基幹相談支援センター ☎ 0799-44-3711
○権利擁護センター ☎ 0799-44-3310
○訪問介護事業所 ☎ 0799-44-3133

○居宅介護支援事業所 ☎ 0799-44-2727
○相談支援事業所 ☎ 0799-44-3711
○なでしこデイサービスセンター ☎ 0799-45-1806
FAX 0799-45-1420
○ふらっとほうむ ☎ 0799-20-9033
FAX 0799-20-9032

あなたのほっとする瞬間は？
抜粋して一部紹介します。

●訪問リハビリを週に2回受けています。その時が1番ほっとします
(80代・女性)

